

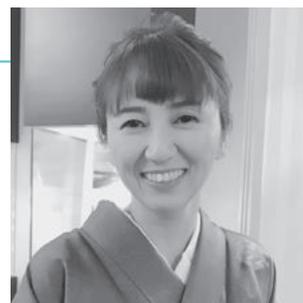


中国地方の女性起業家 (SOERU入賞者)

第3回

有限会社アプトプランニング 代表取締役 児玉 範子氏

中国地域女性ビジネスプランコンテストSOERU (ソエル) の入賞者を紹介します。第3回は、中国地域ニュービジネス協議会長賞を受賞した有限会社アプトプランニング 代表取締役 児玉 範子氏です。



フェアトレード・エクスチェンジ 高付加価値ビーズ手工芸による 国内外の女性自立支援事業

児玉 範子氏

独自の手法による、ハンドメイドの高付加価値ビーズボールを生産・販売。生産はインドの貧困女性とその家族や、自宅に引きこもり、収入を得ることのできない日本の女性が担い、社会とのつながりを創出する。

事業を起こしたきっかけは？

広告代理業を営んでおり、海外での展示会等を通じて海外へ行く機会が多かったことに加え、「手づくりフェア in ひろしま」等のハンドメイドの大規模イベントのプロデュースを手掛けているので、2つのキャリアをマッチングして、社会貢献できることはないかと考えました。

本事業の根本にあるのは、国連が提唱しているSDGs (持続可能な開発目標) です。SDGsは温暖化、貧困問題の解消等のグローバルかつ全ての国に関わる問題を扱っています。これからは、協業の時代になると考えており、日本の企業が海外に進出していく中で、利益だけを追い求めているも続かなくなっています。社会貢献については、形だけでなく中身のあるものに変えていく必要があります。それは、大企業だけでなく中小企業も同じと考えます。海外と日本の社会問題の双方を組み合わせることで解決できる社会貢献の仕組みづくりができるのではないかと考え、本事業を思いつきました。

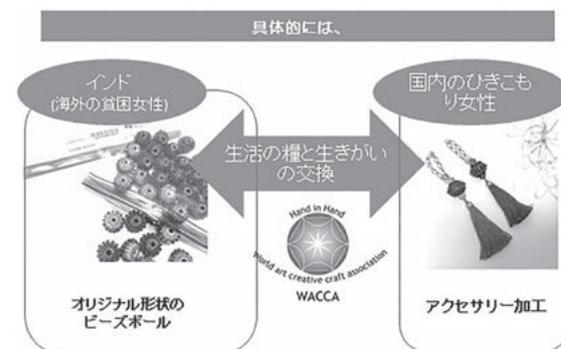


事業の特徴は？

ハンドメイドのオリジナルのビーズボールから作った装飾品を販売しています。生産は、貧困に悩むインドの女性や、自宅に引きこもり、収入を得ることが出来ない日本の女性が担い、社会との繋がりを創出しています。ビーズボールを作るところまでをインドで行い、かんざし、イヤリング等の製品化を日本でを行っています。

支援というと受け手が受身になりがちですが、本事業は誰かのために働くということを実感できることを通して、自発的な向上心を持って自立にまで至ることを目指しています。

インドでは、ビーズボールを作成してもらうだけでなく、自立への具体的な提言も行っています。インドの女性たちはいつか展示会を開き、自分たちの力で商売をしたいと言っています。



事業で苦労したところは？

色々と苦労は絶えませんが、常にWin-Winのビジネスモデルになることを意識して事業を進めています。



例えば、2月からビーズ・ブティックとしてサンモール (広島市内のショッピングモール) とトーホー株式会社 (ビーズメーカー) とコラボレーションして、ワークショップを開催する



実店舗を開いています。引きこもりを経験し、社会と関わるのが苦手な女性の居場所を提供しており、手芸を学ぶワークショップを催すことで、人とのつながりが広がってきています。

店側はイベントの場所、メーカー側は物販の場所、弊社としては社会貢献の場所という位置づけです。このような仕組みをビジネスモデルとして取り組んでいきたいと考えています。

※今後の展望は？

今後は、バリエーションや商品数を増やして事業を拡大していきたいと考えています。また、インドネシアでは編みぐるみの生産を始めるため調査を行っています。販売先は百貨店、物産展など、広告代理業の仕事のつながりを活用しています。他にはネットを介して本事業に賛同いただいた東京や大阪の方から20~30個単位での受注が入ることもあります。



※女性ビジコンSOERUへの参加は？

SOERUに参加する女性起業家は、みなさんアグレッシブで、柔軟な方が多いので、新たなビジネスモデルの創出につながっています。

ファイナリストの起業家同士でビジネスマッチングができないか考え、いくつか実行を開始しています。入ってくる情報量も変わりました。参加前はとにかく仕事を自分で回すというスタイルでしたが、参加後は仕事に余裕が生まれ、アイデアを多く持つことができるようになりました。

また、SOERUを見に来られた女性起業家から、「わたしも頑張ります」と声を掛けてもらいました。私が参加することで同じ女性起業家の励みになれたことは嬉しかったです。

このような経験は本事業に対する使命感をより強くし、一段階ステージを引き上げてくれま

した。皆さんの前で事業に対するの想いを語ることは大事だと感じました。

※SOERUサポート企業・機関への期待は？

私たちと一緒に社会貢献事業に取り組んでいただける企業を探しています。社会貢献事業は後回しになりがちですが、私たちとコラボレーションすることによって実質的な社会貢献が可能です。

例えば、弊社を通じて、寄付金を引きこもりの女性やインドの貧困女性の自立支援に充当することで、SDGsの取り組みとして会社案内等へ謳うことも可能になります。広告代理業のノウハウを活用して、しっかりと社会貢献活動の実績を報告いたします。

※女性の起業支援には何が必要？

もっと知識があったら、うまくいくのと思うケースを多くみているので、総合プロデューサーのような人が必要だと思います。やる気がある人に対して繋ぐだけでなく、具体的なアドバイスをすることで視野を広げられるメンターのような人が必要と考えます。

※最後に読者へ一言

御社はお困りじゃないですか？社会貢献。うまく私たちを使ってください。

本業だけで企業が発展していくことは難しい時代になっています。工場見学など本業の活動を通じた様々な社会貢献に取り組まれています。社会は企業の姿勢に注目しています。少し視野を広げてもらえたら、より実質的な効果をもたらす社会貢献が可能となります。

例えば、女性の活躍を積極的に進める企業であれば、女性の自立に向けた支援をアピールすることも可能です。私たちが、より効果的な社会貢献への移行をお手伝いいたします。

(担当：中祖)

有限会社アプトプランニング

〒730-0051 広島市中区大手町2丁目8-16
岡峰ビル6F

TEL: 082-298-1740

Web: <https://aptplanning.jp>
<https://waccaworld.com/>

E-mail: kodama@aptplanning.jp